

岡山市区づくり推進事業助成申込書

(地域活動部門)

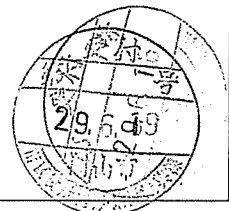
平成 29 年 6 月 16 日

岡山市長 大 森 雅 夫 様

フリガナ グニフジカクカクイボサカ イイカイカイ
 団体名 第二藤田学区大規模災害対策委員会
 所在地 [Redacted]
 連絡先 [Redacted]
 フリガナ イイノヨ エンドウ タロウ
 代表者 職・氏名 [Redacted]
 委員長 遠藤 太郎 [Redacted]

※ 提出した申込書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
 ただし、個人情報に関する部分は除きます。

応募分野	(該当の分野を○で囲んでください。) <input checked="" type="radio"/> ア 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し ウ 地域計画づくり エ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他
事業名称	大規模災害に備える安全安心な二藤作り
事業実施小学校区・地区	第二藤田小学校区
事業実施回数	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 継続 回目 / 【 年度から】
課題	<p>※地域の実情と解決をはかりたい課題、事業実施の必要性について記載してください。</p> <p>干拓地である藤田地域は海拔0m地帯であり、緊急に避難できる高い建物もほとんど無い農村地域である。30年以内に70%の確率で起こるとされている南海トラフを震源とする大規模地震が起これば、浸水・液状化・津波などによる甚大な被害が予想される。この様な大規模災害に対応できる自主防災組織もほとんど組織されず、備蓄や一時避難施設も少なく、学区内住民の意識も低い。こうした点を改善していくことが求められている。</p>
事業の目的	<p>※事業を実施する「目的」を記載してください。</p> <p>大規模災害等の発生に対応できる第二藤田学区の体制を整備し、学区内住民の防災意識向上をはかることで安全安心な地域作りを推進することを目的とする。</p>



事業の内容	<p>※具体的に実施する活動内容を箇条書きで記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学区内各町内会を基礎とした自主防災組織の結成促進及び内容の強化。 ・防災資機材の備蓄を行う。 ・緊急避難場所等による学区全体の避難訓練を実施する。（別紙参照） ・町内会単位の防災リーダー育成のため、全町内会から1名以上の参加で先進的取り組み地域や防災関係の研究機関などへの視察研修を行う。 ・3月に行われるウォーキングと炊き出し訓練では、AEDや消火器の操作、簡易担架の作成、簡易トイレや起震車の体験など防災訓練と併せて、健康増進気軽に参加できる企画として笹ヶ瀬川河川敷ウォーキングを行う。 9月・3月の年2回行うことで参加者の意識の高まりを作る。 ・全町内会員を対象とした返信はがきの付いたアンケートを9月に実施し意識向上と対策を検討する。今回は住民の意識調査を主体とする。 ・学区内の危険箇所(堤防・用水等)の点検と対策の検討、緊急避難場所(簡易避難塔等も含む)の確保などとりくむ。
期待される成果・目標	<p>※事業実施することで、変化すること、期待している成果、事業実施後にどこまで到達しておきたいか「目標」を記入してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学区内住民の防災意識と自助共助の精神の向上。 ・学区内で不足している防災知識の向上、資機材の充実など課題の明確化を計る。 ・継続した取り組みを通じて3年間で学区内町内会の自主防災組織率100%を目指す。今年度は全体の3割の結成をめざす。(あと4町内会) ・リーダーの育成では、全町内会から1名以上と委員会メンバーの育成を図る。
企画などの工夫	<p>※通常、日常的に実施している事業をそのまま提案された場合は、対象とされない可能性があります。区づくり推進事業の申請にあたって、何をどう変えたのか、どこに活動の目的や対象をしばったのかなど、企画にあたっての工夫をお書きください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月12日対策委員会結成時に自主防災会を組織し活動している町内会の取り組みを紹介してもらって先進事例として学ぶ。 ・6月5日町内会長会議で危機管理室より自主防災会についての説明を行ってもらった。今後とも訓練時などで学ぶことも重視する。
協働する団体等	<p>※事業実施にあたり協働することを想定している団体・企業・大学等の名称とその団体間の役割分担について記載してください。あるいは提案団体が既に協働組織となっている場合は、事業実施メンバーの備考欄に団体名をご記入ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二藤学区内各種組織や、緊急避難場所として協定を結んでいるゲットゲット1000やKsデンキ、源吉兆庵などの駐車場など場所的協力もお願いし、避難訓練など実施する。
事業の情報公開	<p>※区づくり推進事業は、広く区民への情報提供することが義務づけられています。地域住民をはじめ区民への情報提供、あるいは情報公開の仕方についてご記入ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館便りや回覧などでお知らせするとともに、市の広報などに掲載していただけるよう取り組む。

学区地区への広がり	※小学校区・地区より狭い範囲（単位町内会等）での事業を実施される場合は、学区・地区等への活動の広がりや課題の共有などをどのように進めていきますか。取組方について記載してください。
前年度からの見直し拡充点	※継続事業で申請される場合は、前年度の事業の成果を踏まえ、今年度の事業の改善・拡充点を記載してください。また審査会での助言・コメント等について改善・拡充したことを記載してください。
次年度以降の予定	<p>※今年度の事業を受けて次年度以後どのように活動を展開していくか、また資金の確保をどのように進めていくかをご記入ください。</p> <p>① 次年度以後の活動計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業は継続していくことが重要であるため、各種研修、避難訓練、炊き出し訓練などを充実させ、防災リーダーを育成し町内会単位の自主防災会結成と活動を強化していく。 <p>②資金の確保について</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>次年度も区づくり推進事業を申請する予定</p> <p><input type="checkbox"/>（ ）年後には、自己資金を確保して地域の独自展開をしていきたい。 資金確保の具体的な方策：</p>
その他PRしたい点	<ul style="list-style-type: none"> ・干拓地であり、緊急避難場所がほとんどない第二藤田学区で、他地域の経験にも学びながら災害に強いまちづくりをすすめる。 ・特に、学区民を対象にしたアンケート調査も行い、防災意識の向上と幅広い意見を集約して課題を煮詰め、具体化を図る。 ・単位町内会を基本にした自主防災会立ち上げの援助と調整を図り、第二藤田学区全体として災害に強いまちをめざす。

事業スケジュール (企画会議や反省会も含めてご記入ください。日程が未定の場合は月だけで結構です。)

月日	活動内容
4月	
5月12日 5月25日	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模災害対策委員会結成。自主防災会を取り組んでいる町内会の経験を学ぶ。 ・事務局総務関係会議開催(防災訓練・必要消耗品の検討)
6月5日	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会長会議で危機管理室より自主防災会について役員会と合同で学習を行う。 その後役員会の開催(アンケート・避難訓練の詳細検討)
7月14日	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練実行委員会(アンケートと9月避難訓練内容の徹底) ※ふじた桃太郎どんぶらこまつり実行委員会も併せて行う。
8月	
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・10日(日)午前11時30分より第二藤田小校庭にて避難訓練と講演を行う。 ・15日(金)二藤合同役員会にて避難訓練の総括を行う。 ・学区民を対象にした返信はがき付き防災アンケートの実施
10月8日	<ul style="list-style-type: none"> ・8日「ふじた桃太郎どんぶらこまつり」に防災コーナーを設け防災グッズの展示と実演(簡易トイレ・浄水器など)を行う。
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・役員会開催、アンケートの中間報告も行う。
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会開催、アンケート結果の分析と対策の検討を行う。
1月14日	<ul style="list-style-type: none"> ・学区新年互例会にて取り組みの紹介
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・阪神・淡路大震災記念「人と防災未来センター」への研修 (各町内会から防災リーダーとなる人と対策委員など約40人参加で行う) ・炊き出し訓練とウォーキング実行委員会の開催
3月25日	<ul style="list-style-type: none"> ・炊き出し訓練とウォーキング実施。(消防署によるAED、消火器操作、簡易担架の作り方の指導、起震車による地震体験、簡易トイレの展示、簡易浄水器などを使用して緊急避難時を想定した訓練と体力作りのためのウォーキングを行う。)チェーンソーを使って材木を切る実演

収 支 予 算 書

◆ 収 入

単位:円

項 目	前年度決算 (決算見込可)	予 算	備 考
岡山市補助金		985,000	(100 円未満の端数切捨て)
実施団体負担金			
参加者負担金		50,000	40 人×1000 円 など
協賛金		60,000	企業等
寄付、他収入		365,633	連合町内会等
計		1,460,633	

◆ 支 出

単位:円

費 目	前年度決算	予 算	備 考
消耗品費		1044633	別紙参照
食料費		52,000	研修時昼食代¥1000×40 人分 会議時のお茶代
印刷製本費		53,000	返信はがき付きアンケート印刷代 (4,000 枚)、会議資料印刷他
通信運搬費		40,000	案内ハガキ・切手・返信はがき受け取り 費用(¥62+15)×400
使用料・賃貸料		30,000	会場使用料、入館料(20000)、駐 車料金
原材料費		11,000	味噌汁材料費 700 人分
報償費		15,000	講師謝礼(9 月 10 日 訓練時)
保険料		15,000	各種調査時の保険代金
旅費		200,000	人と防災未来センターへの研修 バス代(17 万)及び高速料金(3 万)
その他		0	
計		1,460,633	

◆概算交付の要否(いずれかに○をしてください)。(補助金額が20万円を超える場合のみ)

補助金の概算払いを	<input checked="" type="radio"/> 希望する	<input type="radio"/> 希望しない
-----------	---------------------------------------	-----------------------------

※「希望する」場合は、その理由を具体的にお書きください

設立したばかりであり、財政がないため是非よろしく願いいたします。

注①：前年度決算額が確定してない場合は、見込み額を記入してください。

注②：支出の費目は、消耗品費・食糧費・印刷製本費・旅費交通費・通信運搬費・謝礼金・会場使用料・保険料など適当な費目に分けて記入し、備考に積算内訳を記載してください。

※記入欄に書ききれないときは、別紙として添付してください。